

# よぬだ ところどころ



第五十一号

ヨナダーが下米田・牧野の色々な見どころを紹介するよ

## 牧野の太陽光発電所



牧野の県有地に1.4 MWのメガソーラー（大規模太陽光発電所）「メガソーラー美濃加茂太陽光発電所」が建設された。牧野の西は江戸時代に尾張藩の「御林」であったため、住民の利用が禁止されるとともに、出入りすらできなかった。しかし、明治維新とともに御林は明治政府に接収され、「国有」となった。従って後に一部が「岐阜大学農学部」の実習農場となった経緯がある。現在の土地は県有部分となっており、西野建設が県から借用し、ソーラー発電を始めたのである。隣接の県有地には、「可茂特別支援学校」がつくられている。

写真右は発電所で、奥に可茂特別支援学校が見える。ソーラー施設は、牧野ふれあい広場の一部約1万6,865㎡に太陽光パネル5,520枚ほどが設置された。年間の発電量は150万kWhを見込み、一般家庭30世帯分の電力使用量に相当する。発電した電力は中部電力に全量売電される。売電単価は21円/kWhとされている。発電所の総事業費は2億8千万円。事業期間は20年間とされている。



西のパネルの下では榊が栽培されている。榊は宗教行事に使用されるので、一定の需要が見込まれる。しかも、近年、日本での栽培が急激に減少し、総需要の九十%が中国からの輸入となっているのが現状である。当然船便などで輸入され、鮮度が悪いという問題点があった。

榊は次のような植物としての特徴がある。

- ①日陰でも育ちやすい
  - ②丈夫で手入れがしやすい
  - ③低木樹であり大きくなりにくい
- また、太陽光パネルが霜害を防ぐ役目をする  
写真左は、西のソーラーパネルの下で栽培されている様子を写したものである。